ごみの出し方講座

皆さん、ごみを正しく出せていますか？

正しく分別して出すことは、焼却ごみや埋めたてごみの減量化につながる重要な事です。

そこで、特に間違いの多いケースの正しい分け方・出し方を紹介しますので、今後も適正な処理にご協力をお願いします。

Text 1 【プラ】マークのついていない物は可燃ごみへ
Text 2 不燃ごみは金属類とガラスくず・陶磁器くずを分けましょう
Text 3 びん類の出し方（びんの見分け方）

ごみの出し方ガイドＱＲ→

Ｔｅｘｔ１ プラマークのついていない物は可燃ごみへ

プラスチック容器包装（リサイクル物）で出すことができるごみは、【プラ】マークのついている物に限ります。すなわち、プラスチック製品であってもリサイクルすることができないごみがあります。

主にリサイクルできない物としては、プラスチックでできているバケツ、おもちゃ、ビデオテープ等の【プラ】マークのないごみです。これらのごみはリサイクルすることができないため可燃ごみとして出しましょう。

このマークのある物はプラごみへ！

Ｔｅｘｔ２ 不燃ごみは金属類とガラスくず・陶磁器くずを分けましょう

金属ごみ（スチール缶、フライパン、釘、等）

これらは鉄製品として再資源されます。

※特に資源物となるアルミ缶は、金属くずに混入しないよう注意してください。

ガラスくず 陶磁器くず（グラス、お皿、花瓶、汚れたビン等）

これらの物は埋め立て処分となります。

※混入しない

Text3　びんの出し方（びんの見分け方を紹介します）

ガラスびんは、容器包装リサイクル法に基づいてリサイクルしています。容器包装リサイクルの対象となる基準は、商品（飲み物や食品など）が入っていた容器（びん）となりますので、飲料水・食品・酒類・調味料・飲み薬・化粧品などの空きびんが対象となります。なお、ガラスコップは、びん類と同じ素材ですが「食器」であり、お店で購入した際に、内部に商品（飲み物や食品など）が入っていませんので、容器包装リサイクルの対象となりません。尚、プラ製容器包装、紙製容器包装も同様です。

透明びん

右の2枚は一見色つきに見えますが口部（飲み口）の部分が透明なのでこれは無色透明ビンです。

茶びん　その他びん

茶、その他に色ごとにそれぞれ分けて出す

ガラスびんの正しい出し方

①. キャップ、アルミカバーをとる。

②. 中をしっかりと洗い乾かす

③. 無色透明、茶色、その他びんに分ける

④. 分けたびんをそれぞれ別の透明袋に入れ出す。

口部が色つきの為、これは乳白色びんです。
ガラスくずで出して下さい。

耐熱性ガラス、ガラス製の食器、哺乳びん、コップは「容器包装リサイクル」の対象外となりますのでガラスくず・陶磁器くずとして透明袋に入れて出してください。

～お問い合わせ～

白馬村役場
住民課　環境衛生係
電　話　0261－85－0715
ＦＡＸ　0261－75－7001